

SUPPORTERS CLUB NEWS

友の会 会報

TAKAYAMA-UICHI MEMORIAL MUSEUM OF ART

〒039-2501
青森県上北郡七戸町字荒熊内67-94
七戸町立鷹山宇一記念美術館内
鷹山宇一記念美術館友の会
<TEL>0176-62-5858 <FAX>0176-62-5860
<e-mail> takayamamuseum@ruby.plala.or.jp



㊦(左)『現代日本文学館24川端康成「眠れる美女」より挿絵。㊦(右)堀辰雄著「菜穂子他4編」より挿絵 ㊦直木三十五著「剣豪傳」装幀



■「鷹山宇一誕生100周年記念展」にて公開中、鷹山宇一の装丁本、挿絵本■

鷹山宇一の装幀本、挿絵本

書店などで本を手取る時、最初の手掛かりとなるのはカバーや表紙の書名や著者名、そしてこれらを含めた本全体の「デザイン」ではないだろうか。装幀日本のデザインは、その本の印象を決定づける、大きな要因の一つである。現在では、ブックデザイナーという職種も確立しているが、それも1960年代以降のこと、明治時代以降の日本における装幀の主な担い手は、美術家たちであった。

洋画家・藤島武二は『みだれ髪』(東京新詩社、1901年)など、与謝野晶子の作品を多く手掛けているし、版画家・橋口五葉は、夏目漱石の『我輩ハ猫デアル』(上・中・下、大倉書店・服部書店、1905、1907年)をはじめ、誰もが知る文豪の作品や傑作も多い。装幀はもとより挿絵にいたるまで、画家たちが手掛けることが多かったのである。戦後も勿論、食べるものにも欠いた困窮を極めた時代であって、美術家たちが出版に関わることとは、生活を維持するためにも大変有り難い仕事であったことだろう。

鷹山宇一が書籍に関わる仕事をはじめたのは、おそらく1947(22)年以降のことと推察される。終戦後郷里七戸に帰省した際に世話になった当時の七戸病院・松田春雄院長へ鷹山が宛てた書簡(『松田春雄スケッチ集』所収「松田先生の思い出」1978・8・1発行)に、次のような近況報告がなされている。

(前略) 東京は目下生活してゆくためには大変困難なのですが、幸なことには今度文部省の小・中学の教科書が民間出版社の手に移りましたため数社からその挿絵を引き受けることになりました。もう先生に馬鹿にされるような売絵を描く必要もなく生活も安定のメドが立ちましたので本職の作画に打ちこめると我ながら喜んで居ります。(後略)

これ以降、教科書や本の挿絵・装幀はもとより、雑誌、新聞へのカットなども手掛けていて、これらの一部が鷹山自らの手により大切にスクラップされた『我楽苦多帖』に遺されている。

只今開催中の「生誕100周年記念展」では当館でもはじめて、鷹山宇一の装幀本・挿絵本を紹介している。これらは鷹山が手掛けたうちのほんの一端であるが、洋画家なのに武士モノの装幀をしていたり、意外性があつてなかなか面白い。今後も資料の収集につとめていきたいと思つている。

友の会会員の皆様をはじめ、ご来館の皆様におかれましては、鷹山宇一の装幀本・挿絵本等の情報がございましたら、是非ご一報いただけましたら幸甚に存じます。

学芸員 大池亜希子

友の会平成20年度通常総会開催

鷹山宇一絵画購入資金を贈呈



通常総会后、青山理事長(右)に目録を贈呈する盛田会長(左)

鷹山宇一記念美術館友の会平成20年度通常総会が平成20年6月14日午後2時から開催。平成19年度事業報告書・収支決算書及び平成20年度事業計画書・収支予算書の承認議案などすべての議案が原案どおり可決されました。また役員改選が行われ、本年度の事業体制が整いました。総会終了後、盛田会長より財団法人鷹山宇一記念美術館振興会青山浄晃理事長に鷹山宇一絵画作品購入資金として百万円の目録を贈呈致しました。

なお、総会資料を別添のとおり同封致します。本年度も、友の会会員の皆様のご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

鷹山宇一先生誕生100周年 記念事業について

平成20年は、鷹山宇一先生の生誕100周年の記念すべき年です。友の会では、平成18度剰余金から記念事業に取り組むための基金を積み立てて参りました。

役員会で検討を重ね、次の四事業を記念事業として計画し、総会で承認されましたのでご紹介致します。

記念事業

- 1 絵画購入資金指定寄附
鷹山宇一の作品購入資金の一部として財団法人鷹山宇一記念美術館振興会に100万円を指定寄附致します。
- 2 会報記念号の発行
会報第53号を、「鷹山宇一先生誕生100周年記念号」として特別編集の上、誕生日の12月10日に合わせて発行致します。
- 3 記念品の製作・配布
鷹山宇一の生前に七戸町で製作したビデオをDVD化して、全会員に配布致します。
- 4 記念講演会の開催
鷹山宇一に関する講演会を開催致します。(6月16日美術館で開催された永井龍之介氏の美術講演会を共催しました。)

監視ボランティアのお誘い 研修旅行について

今美術館では「宇一が愛した西洋ランブ/故郷に帰った作品たち/今、いつときの、預かりもの」と題した鷹山宇一先生誕100周年記念展が開催中です。

7月からは一部作品の入れ替えがあり、初展示の作品などがお楽しみです。

また、秋の企画展として「ヤマタネ所蔵作品による『日本画名品展』(仮称)」が開催されます。横山大観を始めとする有数の日本画名品展、友の会会員の方々には監視ボランティアをお願いしたいと存じます。

国内の研修旅行は、後述のように今年度は秋に2回計画致しましたので、多くの会員のご参加をお願い致します。

第4回海外研修旅行は、平成21年春に希望の多かった「台湾・故宮博物院を訪ねて」を計画し、次号会報で募集を開始致しますので、ご期待下さい。

今年度も会員各位のご協力をお願い致します。

平成20・21年度 役員のご紹介

会長	盛田 田	造子 (再任)
副会長	奥山 雅 (再任)	雅子 (再任)
事務局長	戸田 榮 (再任)	清剛 (再任)
理事	石原 佳 (再任)	美奈子 (再任)
理事	小川 山 (再任)	美津子 (再任)
理事	川村 恭 (再任)	洋子 (再任)
理事	下田 惠 (再任)	喜代子 (再任)
理事	盛山 本 (再任)	藤子 (再任)
理事	山工 藤 (再任)	田豊 (再任)
監事	附田	

「鷹山宇一誕生100周年記念展」

宇一が愛した西洋ランプ / 故郷に帰った作品たち
 ～今、いつときの、預かりもの～



2008年8月31日(日)迄開催中! 毎週月曜休館 ※7/21は開館、8月は無休

7/1(火)～鷹山宇一絵画作品、八戸市美術館・鈴木コレクションを展示替え!!

Information

●入館時間●

10:00～17:30
 (閉館は18:00)

※8/1は開館記念日につき
 夜19:00閉館

●入館料●

一般 / 600 (480) 円
 学生 / 400 (320) 円
 小中学生 / 100 (80) 円

※()内は20名様以上の団体、県民
 カレッジ受講者、JAF会員割引料金。
 ※友の会会員の皆様は特典どおりご
 入館いただけます。

「鷹山宇一誕生100周年記念展」

またここでは、本展オープニングから
 これまでの鷹山宇一誕生100周年に
 まつわる出来事あれこれを、紙面を借
 りてご紹介してまいります。

6月29日までの前期展示にお出掛け
 くださった皆様、そして、まだこれから
 ご来館予定の皆様、初公開資料を含む
 秘蔵資料や初期から晩年に至る絵画を
 はじめ、鷹山宇一の審美眼により収集
 された「美」の結晶・西洋の華麗な装飾
 卓上ランプなど、鷹山芸術の深層にせ
 まる本展を是非ご覧ください。

鷹山宇一誕生「100年」という大き
 な節目を迎えた本年、当美術館はもとよ
 り七戸町、鷹山宇一誕生100周年記
 念事業実行委員会などによる記念事業
 が多数企画・実施されています。

七戸町と当美術館との主催による
 「誕生100周年記念展」も、8月31日
 までのロングランとは言いえないよ折
 返しポイントを迎え、絵画部門におい
 ては、7月1日(火)から後期展示作品に
 入れ替えをし、装いも新たに「ご鑑賞
 いただき運びとなりました。」

■ソプラノ・北村美緒さん(鷹山宇一孫)による独唱により、鷹山作品
 にちなんだ歌をはじめ5曲を披露。多くの参集者の心を震わせました。



■開催式には三村青森県知事代理として
 ご来館の青森県副知事・青山祐治様より
 ご挨拶を頂戴いたしました。

4/26開催式テープカット

●鷹山宇一画伯の誕生100年を記念
 した本展の開催式には、鷹山家ご家族をは
 じめ、本展特別に作品をお貸し出しくださ
 った方々など、多くの関係各位がお集まり
 くださいました。

■式典終了後は「宇一が愛した西洋ランプ」展
 会場に移動して、新谷勝弘七戸町教育長の乾
 杯によりレセプションパーティーを開催しました。



■テープカットをして「鷹山宇一誕生100周年記念展」の開
 幕を祝いました。右から当館名誉館長・鷹山増子、七戸町議
 会副議長・工藤耕一様、青森県副知事・青山祐治様、七戸町
 小又勉副町長、当財団理事長・青山浄晃

● 美術館日誌 ●

【2020】

- ▼1日/いちようっ子くらぶ「イチヨウの絵本ができるまで④」開催、講師に女子美術大学非常勤講師・二科会会友の永田治子氏（2日迄）
- ▼6日/鷹山館長青森市出張（県立美術館懇話会出席）。美術館電気設備定期点検（佐藤電気）
- ▼7日/佐伯、新幹線開業実行委員会観光部会に出席（七戸庁舎）
- ▼8日/美術館あそびくらぶ「木版画」開催
- ▼10日/大池、佐伯青森市出張（あおもり芸術振興ネットワークショップエクト研究会出席/国際芸術センター青森）
- ▼11日/第98回火曜サロン開催
- ▼14日/鷹山館長、県立七戸養護学校卒業式に出席
- ▼15日/平成20年第2回理事会、評議員会、第1回鷹山宇一誕生一〇〇周年記念事業実行委員会開催（美術館2階工房）。当財団役員懇親会開催（盛田旅館）
- ▼16日/七彩会油絵教室開催
- ▼23日/鷹山館長、蝦名青森県副知事御尊父様お通夜に参列
- ▼24日/鷹山館長一般国道4号七戸バイパス開通式に出席。鷹山館長十和田市出張（多田桂林作品見学）
- ▼25日/パリ在住造形作家・佐藤達様ご来館

- ▼28日/企画集団ぶりずむ発行の隔月刊誌あおもり草子「鷹山宇一特集号」完成。当財団職員・花松朝美さん退職、送別会開催（ジュノン）
- ▼29日/友の会会報50号発送作業

【4月】

- ▼5日/七彩会油絵教室開催
- ▼9日/大池、青森市・八戸市出張「鷹山宇一誕生一〇〇周年記念展」出品作品集荷
- ▼11日/鷹山館長「平和の文化と子ども展」を鑑賞（七戸中央公民館）。佐伯、新幹線開業実行委員会観光部会に出席（七戸庁舎）。当財団職員応募締切日
- ▼12日/友の会監査会開催（美術館2階工房）。鷹山宇一誕生一〇〇周年記念事業実行委員会常任委員会開催（美術館2階工房）
- ▼13日/当財団職員採用面接会開催
- ▼14日/鷹山館長七戸町商工会総会に出席
- ▼15日/展示替えのため臨時休館（26日迄）。定例スタッフ打合せ会議。RAB青森放送十和田支局・玉田氏「鷹山宇一誕生一〇〇周年記念展」を取材
- ▼17日/鷹山宇一誕生一〇〇周年記念展ポスター発送作業。RAB青森放送十和田支局・玉田氏「鷹山宇一誕生一〇〇周年記念展」を取材
- ▼18日/鷹山館長青森市出張
- ▼20日/七彩会油絵教室開催
- ▼21日/東奥日報社生活文化部・川村記者「鷹山宇一誕生一〇〇周年記

念展」を取材

- ▼22日/定例スタッフ打合せ会議
- ▼23日/RAB青森放送十和田支局・玉田氏「鷹山宇一誕生一〇〇周年記念展」を取材
- ▼24日/鷹山宇一誕生一〇〇周年記念事業実行委員会が鷹山作品購入資金一〇〇万円を七戸町へ寄付
- ▼25日/戦没画学生慰霊美術館「無言館」館主・窪島誠一郎様ご来館
- ▼26日/「鷹山宇一誕生一〇〇周年記念展」開催式
- ▼27日/「鷹山宇一誕生一〇〇周年記念展」初日（8/31迄）
- ▼30日/RAB青森放送ニュースレターにて「鷹山宇一誕生一〇〇周年記念展」特集番組放送

【5月】

- ▼1日/当財団経理・庶務担当新任職員・坪孝幸君着任
- ▼8日/鷹山宇一誕生一〇〇周年記念事業実行委員会常任委員会開催
- ▼9日/鷹山館長・大池青森市出張（七戸町美術資料収集審議会審議委員委嘱願）
- ▼11日/茶道裏千家七戸会によるお呈茶の披露
- ▼14日/美術館電気設備定期点検（佐藤電気）
- ▼15日/重油タンク定期点検・清掃（県南環境保全センター）
- ▼17日/当財団平成19年度監査会
- ▼18日/七戸町商工会女性部主催「七戸つつじ祭り観光ツアー」23名様ご来館。七彩会油絵教室開催

- ▼20日/佐伯、あおもり県民カレッジ会議に出席（上北教育事務所）
- ▼21日/南部藩児童交流事業打合せ、岩手県遠野市より担当者2名様ご来館。鷹山館長青森市出張（県立美術館推進会議出席）
- ▼23日/青森県総合社会教育センター職員2名様ご来館（てのひら）取材のため。当財団平成20年第3回理事会開催
- ▼24日/当財団平成20年第3回評議員会開催
- ▼27日/交通安全母の会間宮会長、三上事務局長ご来館。佐伯、南部藩児童交流事業運営委員会に出席（七戸庁舎）
- ▼28日/東京より遠藤様ご一行3名様ご来館。鷹山館長（株）七戸物産協会総会に出席
- ▼29日/大池・佐伯十和田市出張（あおもり芸術振興ネットワークショップエクト研究会出席/十和田市現代美術館）
- ▼31日/鷹山館長美土里会20周年記念祝賀会に出席（サンロイヤル十和田）

新スタッフのご紹介



■3月末に退職いたしました花松朝美さんに代わり、坪孝幸（つば・たかゆき）君が当財団経理・庶務を引き継ぎました。どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

ボランテアの勧め!!

七戸町 福田幸男

ボランテアの語源を見ると、義勇兵の意、自ら進んで社会事業などに無償で参加する人とある。そのことから定年後、生まれ育った町の為の役立つことの一つとして選んだのが、鷹山宇一記念美術館の監視ボランテアである。日本有数の美術作品の本物を見る喜び、新しい知識を得、深める事ができる。県内外からの来館者から折に触れて珍しいお話しを伺えること。多くの子供達から若さをもらう好機である等。今美術館は、公共交通の不便・高齢化などの為ボランテアの志望者が減少しつつあるが、二年後の新幹線開業に向け、私は来館者を通しての七戸町の最大の情報発信基地だと考える故に、その見地から多くのボランテアの方々がお出でになり、開館以來十五年になる美術館の在り方、改善、アイディアなどをご教示頂ければ幸いである。

また、美術館にはどなたでも入れる「友の会」があり、その事業の一つに国内外の研修旅行がある。スペイン・パリ・イタリアなどの旅行に参加させていただいたが、本物をこの眼で見た感動は生涯忘れる事が無いであろう。美術館のボランテアを勧める所以である。

福田さんは平成6年の美術館開館以来、継続して監視ボランテアを務めておられます。ありがとうございます。

第3回海外研修旅行南仏・パリ名画の風景と 印象派を訪ねて 旅行記 5(最終回)

愛煙家の海外旅行

七戸町 小川敏雄

乗り物から降りたとき、建物から出たとき、喫煙場所を見つけると、嬉しそうに喫煙仲間知らせて、まわりからの冷笑にめげずパス。始める。

喫煙者が肩身の狭い思いをするのは世界的風潮であり、フランスの観光地でも同様である。くわえ煙草で歩いている人が少なく、吸殻もあまり落ちていない。どの観光地も石やコンクリートで固められた道路、隙間なく整備された芝生や木立、どこを見ても雑草や土



モナコ/小川敏雄氏



セーヌ川対岸/小川敏雄氏

が見あたらぬ。全く無駄なく整備された風景を、紫煙をゆらしながらゆっくり堪能できたらなあと思う。

ただ、パリは吸殻が落ちていたし、路上での喫煙も目につく。ルネサンス風の建築群や彫刻のある広場に感嘆しながら、灰皿のないルーブルの広場で一服した。他の観光客の様に吸殻は捨てずに、手持ちの灰皿でちよっぴりエチケットを守りながら...

旅行最後のホテルは、室内にも灰皿が置いてあり、ウム快適な旅なりと、ご満悦に過ごした。

新規会員入会のお誘いと 会員登録更新のお願い

平成20年度も会員の皆様には、友の会運営に多大なお力添えをいただき、誠に有難うございます。

早速に更新された会員の皆様は厚く御礼申し上げます。総会も終わり、新年度事業のスタートになりましたが、皆様には一層のご理解とご協力を賜りたく、特に新規会員の勧誘をお願い申し上げます。更新手続きがまだの会員の方は、引き続き会員登録の更新をお願い申し上げます。

なお、更新手続きは、美術館窓口で随時行っております。

○一般会員

会費(個人) 年度会費3千円

特典

- ① 無料入館券3枚。会員証提示により入館料2割引
- ② ミュージアムグッズ1割引
- ③ 研修会、講演会への招待、優待
- ④ 他美術館等の視察研修への優待参加
- ⑤ 会報の配布

○特別会員

会費(個人・法人) 年度会費1万円

特典

- ① 一般会員特典に加えて
- ② 本人及び同伴者1名まで無料入館
- ③ 新規加入の方に画集1冊贈呈

○賛助会員

会費(個人・法人) 年度会費2万円

特典

- ① 一般会員特典に加えて
- ② 本人及び同伴者3名まで無料入館
- ③ 特別企画展の都度、招待券を贈呈

詳しくは、美術館までお問い合わせ下さい。

平成20年度友の会国内研修旅行 アメデオ・モディリアーニ展 & ジュディ・オンク情玉展



☆《お下げ髪の少女》
☆1918年頃
☆油彩／キャンバス 60×45.5
☆名古屋市美術館蔵
(同館HPより転載)

《アメデオ・モディリアーニ展》

好評の友の会研修旅行。平成20年度第一回目の研修旅行です。
「20世紀前半のパリを舞台に、その短い生涯を自己の芸術のために捧げた世界的な画家・アメデオ・モディリアーニ。本展は、日本初公開となる作品など45点による珠玉のモディリアーニ展。誰もが一目で彼の作品と分かるその独特の造形表現が形成されていく過程を明らかにしていきます。」(岩手県立美術館友の会会報より引用)
会員の皆様のご参加をお待ちしております。

- ◆研修先 岩手県盛岡市 岩手県立美術館
- ◆日時 平成20年9月15日(月・祝日)
- ◆募集人員 先着35名
- ◆参加費 5,000円(バス代、入館料、昼食費を含みます。)
- ◆申込期限 平成20年8月24日(日)
- ◆日程
 - ▽午前8時 七戸南公民館出発→十和田市経由→盛岡市
 - ▽午前11時 岩手県立美術館到着
 - ▽午後1時 昼食(盛岡市内)
 - ▽午後2時 盛岡市内散策(変更あり)
 - ▽午後3時 バス集合・出発(高速道路経由)
 - ▽午後6時頃 七戸南公民館着。解散。
 - ▽午後8時頃 鷹山宇一記念美術館

電話 0176(62)5860
FAX 0176(62)5860



《ジュディ・オンク情玉展》

秋の研修旅行第二弾です。
歌手として、女優として世界を舞台に活躍するジュディ・オンクさん。棟方志功門下の版画家・井上勝江氏に師事して版画を学び、05年には「日展特選」を受賞するなど本格的な実力派。珠玉の作品群をお楽しみ頂けます。

- ◆研修先 青森市 青森県立郷土館
 - ◆日時 平成20年10月26日(日)
 - ◆募集人員 先着35名
 - ◆参加費 3,500円(バス代、入館料、昼食費を含みます。)
 - ◆申込期限 平成20年10月5日(日)
 - ◆日程
 - ▽午前9時 七戸南公民館出発→みちのく有料道路経由→青森市
 - ▽その他詳細未定
 - ▽午後5時頃七戸南公民館着。解散
- ◆お申し込み・お問い合わせ先
鷹山宇一記念美術館

電話 0176(62)5860
FAX 0176(62)5860

「祇園白川」

(Sakura of Kyoto Gion Shirakawa)
2004第80回記念白日会出展作品
画寸 1071×833
©HEEMORY/STEPeast

第4回海外研修旅行のお知らせ

★平成21年春に、「台湾・故宮博物院を訪ねて」の研修旅行を計画。台湾とは仙台空港との往復を予定。コース、ホテル、料理など最終見積り中です。
★9月発行の会報第52号で詳細を発表し、募集を開始致します。

編集後記

★国内研修旅行では関西、中国・四国、九州は？との声が寄せられております。
★総会も終わりほっとしています。本年度もよろしくお願いたします。(E・T)